

お客様へ ●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

必ず実施 ●点灯異常の際は電源を切る
異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になることがあります。

必ず実施 ●定期的に点検する
3年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検を実施してください。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。

●清掃の際は必ず電源を切る
感電・破損の原因になります。

※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。（JIS C8105-1解説による）

禁止 ●可燃物を近づけたり、本製品の真下に熱源を置いたりしない
本製品を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。

●使用環境温度・湿度を守る
本製品は屋内・屋外兼用です。適正温度の範囲内で使用できますが、高温で使用すると火災の原因になるおそれがあります。湿度が常に90%RHを超える環境での使用は、絶縁不良や感電の原因になります。

●破損したものを使用しない
本製品が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。

●使用環境温度：-40℃～+45℃
●使用環境湿度：90%RH以下

●分解や改造はしない
本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

禁止 ●光を直視しない
点灯中にランプを直視しないでください。目を痛めることがあります。

●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災や感電の原因になります。

●点灯中・消灯直後に触れない
点灯中や消灯直後は、本製品が高温になっていることがあるので触れないでください。やけどの原因になります。

LED照明使用上の注意

- 本製品のLEDモジュール部分は交換できません。
- 200V電源を使用する場合は、両切りスイッチを使用してください。消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。
- 本製品の近くで他の機器のリモコン（リモートコントローラー）を操作した場合、誤動作することがあります。本製品と他の機器のリモコンを離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤動作したりすることがあります。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。

- 本製品の電源は、高ワットの動力源（モーター）やインバーターなどの製品と回路を分けてください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
- 表示が発光するスイッチに使用した場合、スイッチの発光部が暗くなったり点灯しなかったりすることがあります。
- 照射距離が近いと、光むらが発生する場合があります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模様やちらつきが見える場合があります。
- 防振器から摩耗粉が発生することがありますが、問題ありません。

お手入れ方法

安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。

- 清掃する際は必ず電源を切り、照明が冷えたことを確認してから行ってください。
- 本製品のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
- 清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもの拭いたり、殺虫剤をかけたらないでください。破損、変色の原因になります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

保証規定

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- ②お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
- ③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電源（電圧・周波数）の使用などによる故障および損傷
- ④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
- ⑤施工上の不備に起因する故障や不具合
- ⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
- ⑦日本国外での使用による故障および損傷

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明ホームページ

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは（通話料無料）

LED照明サポートコール

0800-111-5300

（受付時間）平日9:00～19:00、土・日・祝日9:00～12:00 / 13:00～17:00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAXでのお問い合わせは（通話料無料）

0800-111-9300

Webからのお問い合わせは（メールフォームにご記入のうえ送信してください）

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>



LED投光器

シリーズ共通 **IP67** **重耐塩仕様**

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上の注意

ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味

注意を促す記号 してはいけない [禁止] 内容 しなければならない [指示] 内容

施工担当者様へ

●工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●電源は定格電圧・定格周波数で使用する
本製品は日本国内のAC100～240V（電圧変動±6%以内）、周波数50 / 60Hz専用です。それ以外の電源で使用すると、LEDチップの短寿命や火災の原因になります。

●接地（アース）工事を確実に行う
本製品には接地工事が必要です。入力電圧が150V以上300V以下のものはD種（第3種）接地工事を「電気設備技術基準」に準じて行ってください。接地工事が正しくないと、感電や重大事故の原因になります。

●施工説明にしたがい確実に行う
施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令や条例にしたがって行ってください。施工が正しくないと、落下・感電・火災の原因になります。

●本製品の質量に耐える場所に取り付ける
取り付け部の強度が十分でないと、落下による火災や感電の原因になります。

●落下防止ワイヤーを使用する
本製品の設置には必ず落下防止ワイヤーを使用し、重さに十分耐えられる躯体や器具に固定してください。取り付けないと落下による重大な事故の原因になります。

●被照射物と1m以上離す
近すぎると照射物の変色・変形・火災の原因になります。



禁止

●破損している照明器具を取り付けない
感電・火災・落下・けがの原因になります。

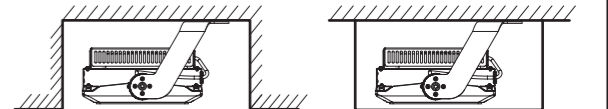
●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災や感電の原因になります。

●粉塵・オイルミスト・引火性ガスや虫の発生する場所には取り付けない
発熱・発煙・発火の原因になります。

●可燃物の近くや熱源の真上に取り付けない
ドアや建具の開閉範囲の近くに取り付けないでください。被照射物の変形・変色や火災の原因になります。また暖房器具の真上に取り付けると、本製品が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。

●分解や改造はしない
本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

●本製品を密閉された場所に取り付けない
短寿命・火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●使用環境温度・湿度を守る
本製品は屋内・屋外兼用です。適正温度の範囲内で使用できますが、高温で使用すると火災の原因になるおそれがあります。湿度が常に90%RHを超える環境での使用は、絶縁不良や感電の原因になります。

●使用環境温度：-40℃～+45℃
●使用環境湿度：90%RH以下



禁止

●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない
腐食や落下の原因になります。



禁止

●風速 60m/s を超える風を直接受ける場所や、経年で強度が低下する場所には取り付けない
60m/s を超える風を受けると落下するおそれがあります。また、経年使用により取り付け部の強度が低下することが想定される場所には、取り付けないでください。

●電源ユニットの口出線に力を加えない
口出線を持って本製品を運搬しないでください。断線や絶縁破壊、接触不良による発熱事故や故障の原因になります。

その他の注意

設置や取り扱いについての注意です。

- 硫黄成分がある場所には取り付けないでください。メッキ工場のように硫黄成分を含むガス・蒸気・液体にさらされるおそれがある場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
- 点灯スイッチは、必ず非接地側（電圧側）に取り付けてください。接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。（接地極のない電源では両切りスイッチを使用してください。）
- 調光器（ライトコントロール）は使用できません。故障や短寿命の原因になります。
- 本製品は水平天井以外には取り付けないでください。傾斜天井、壁などには取り付けできません。発熱により寿命が短くなったり落下したりする原因になります。

各部の名称

- 取り付ける前に下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。
- 部品が不足している場合は、お買い上げ店またはサポートコールまでご連絡ください。

器具

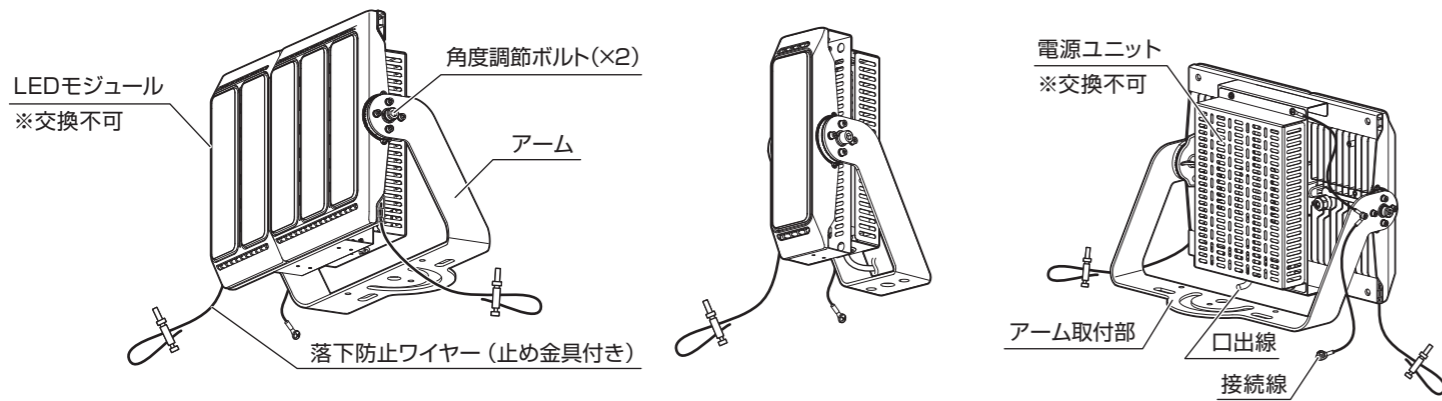
前面

背面

<図は300W (5灯) タイプの例>

<図は60W (1灯) タイプの例>

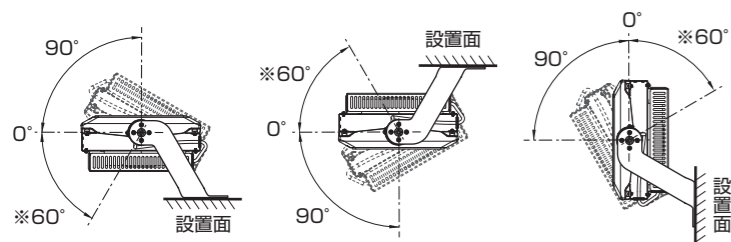
<図は300W (5灯) タイプの例>



可動範囲

- 安全性を十分に考慮して、下記可動範囲内で調節してください。
- 照射角度が変化しないように、強度がある面に取り付けてください。

※設置面方向へは60°以内

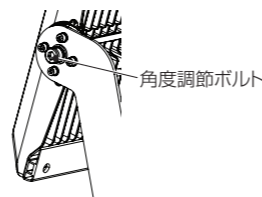


注意

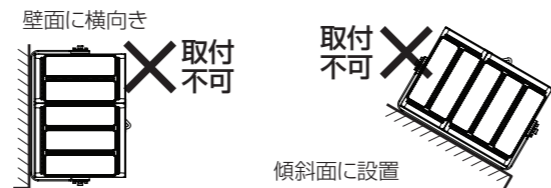
被照射物までの距離は、器具の放射熱の影響が及ばない程度に離してください。近すぎると、熱により被照射物が変形する原因になります。

可動角度の調節 (指定の範囲内5度ピッチ)

※必ず落下防止ワイヤーを取り付けてから調節してください。
LEDモジュールを支えながら角度調節ボルト(2か所)をゆるめて、ゆっくり角度を調節してください。



警告 下図の向きで取り付けないでください。火災の原因になります。



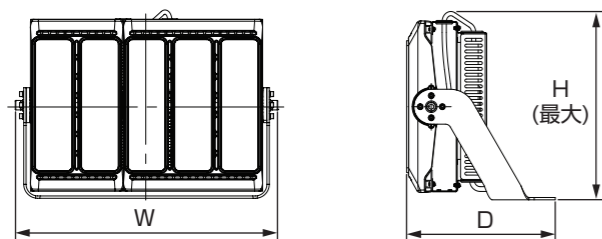
仕様

品番構成 凡例 **FL1M-60W-10-K57-D-V2 (V2S)**

LEDモジュール数	消費電力	1/2ビーム角	色温度 (光源色)	調光方式	製品寸法* (W×D×H) (mm)	質量 (kg)
FL1M 1灯	60W	10° 25° 40° 60° 90°	K57: 5700K (昼光色) K50: 5000K (昼白色) K40: 4000K (白色) K30: 3000K (電球色)	無: 非調光 D: PWM制御	132×221×308	3.9
FL2M 2灯	100W				212×256×308	5.0
FL3M 3灯	120W				392×256×308	5.9
	180W				372×256×308	6.3
FL4M 4灯	240W				452×256×308	8.8
FL5M 5灯	300W				404×347×623	10.0
FL8M 8灯	400W				404×347×623	16.3

- 使用電源: 電圧AC100-240V、周波数 50/60Hz ●使用温度範囲: -40℃~45℃
- LEDモジュール設計寿命: 60,000時間 ●演色性: Ra75 ●調光: PWM制御方式
- ※LEDモジュール設計寿命は、LEDが点灯しなくなるか、初期光束の70%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。
- ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※製品寸法



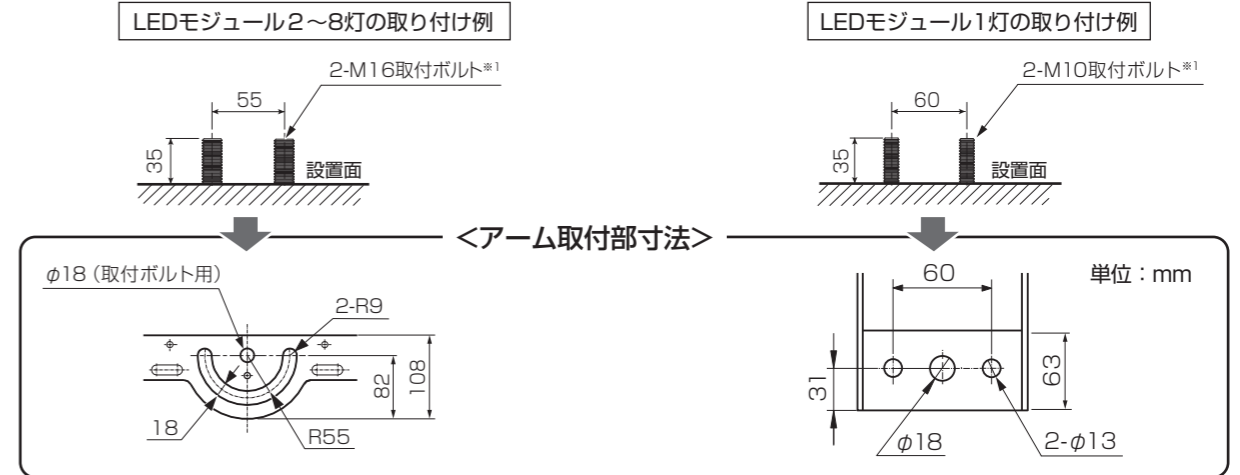
落下防止ワイヤー: 約0.5m (1~4灯×1、5~8灯×2)
口出線: 約1.5m

取り付けかた

- 器具の取り付けは取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取り付けが正しくないと、落下・感電・火災の原因になります。

1 器具を取り付ける

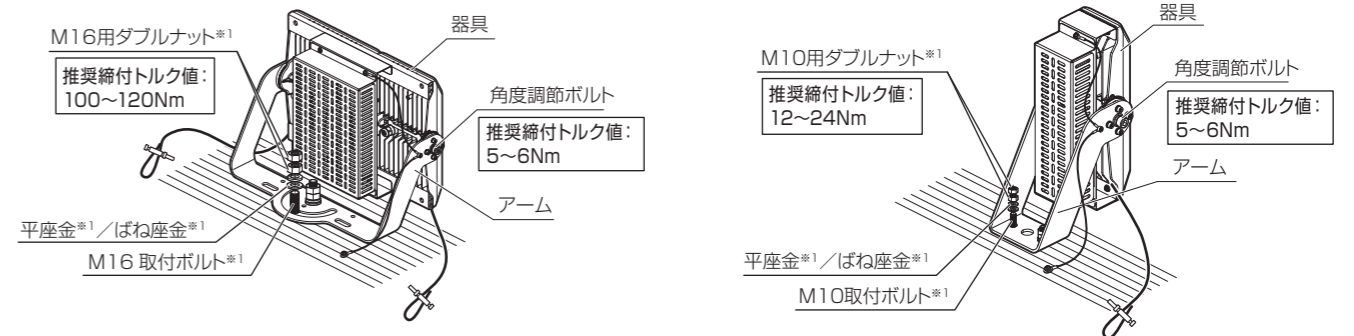
①アーム取付部寸法を参照して、設置面に取付ボルトを設置する。灯数により取付部寸法は異なる。



②設置したボルトにアーム取付部の穴を通して、適応サイズの各座金とナットで締め付ける。

●5灯式の取り付け例 (M16ボルト/ナット)

●1灯式の取り付け例 (M10ボルト/ナット)



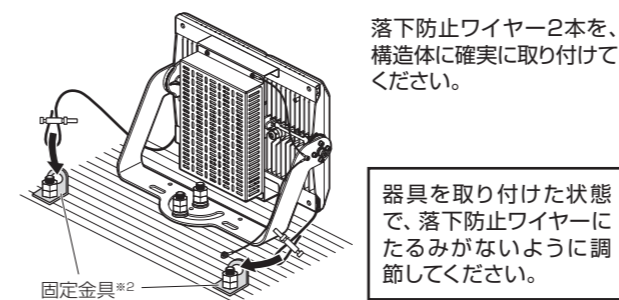
警告 ナットの締め付けトルクが不足すると、ゆるみにより器具が脱落または落下して、重大事故の原因になります。

※1 取付ボルト/ナット/座金類を別途準備してください。

2 落下防止ワイヤーを取り付ける

本体の落下防止ワイヤーを、必ず荷重に耐えられる構造体に固定してください。

<取り付け例>



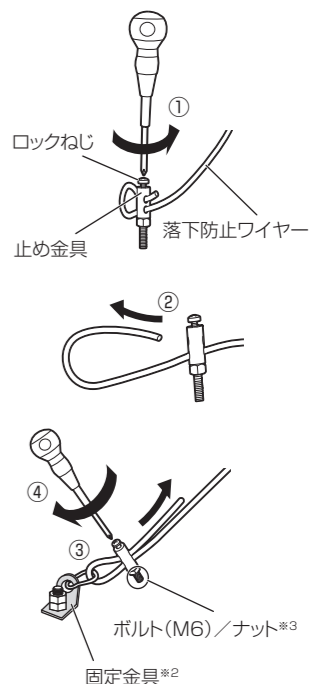
警告 取り付けが正しくないと、脱落や、落下による重大な事故やけがの原因になります。

<落下防止ワイヤーの長さ調節方法>

以下の手順で、本体直結の落下防止ワイヤーを適切な長さに調節して、落下防止ワイヤーが抜けないように、ロックねじを確実に締めてください。

- ① 落下防止ワイヤーに付属している止め金具のロックねじをゆるめる。
- ② 落下防止ワイヤーの先端を止め金具から抜き取る。
- ③ 落下防止ワイヤーの先端を、構造体のフックなどに通したあと、止め金具へ戻し通す。
- ④ 落下防止ワイヤーのたるみを取り、ロックねじを確実に締める。

※2 固定金具を別途準備してください。
※3 止め金具のボルト (M6) / ナットは、構造体に直接固定することもできます。



3 電源線・接続線を接続する(2本)

①電源設備の技術基準省令第7条にしたがい、電源口出線の白線・黒線を電源線に接続する。

警告 接続が不完全な場合、発熱・感電・火災の原因になります。

②電源口出線の接続線を使用して、D種(第3種)接地工事を実行する。

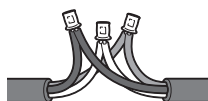
警告 接地工事は電気設備の技術基準にしたがい、確実に行ってください。不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

③各端子とシース部をケーブル絶縁被覆部から自己融着テープなどで防水処理を行う。その後、絶縁テープなどでそれぞれに絶縁処理を行う。

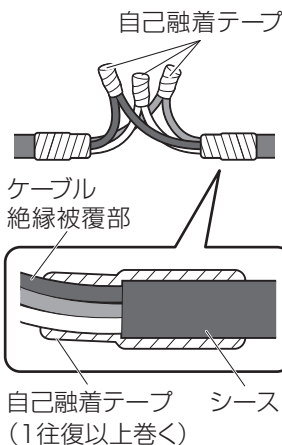
警告 接続部、シース部に直接水がかかると、水分が毛細管現象により器具内部に侵入するおそれがあります。

④各端子を絶縁した後、電源線及び電源口出線のシース(外被)の部分から絶縁処理し、ポール内に入れ防水処理を確実に実行する。

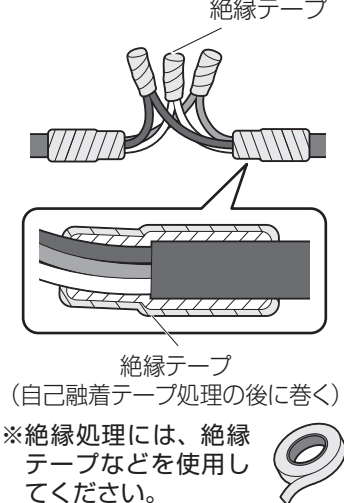
①② 端子を圧着する



③-1 端子とシースを防水処理する



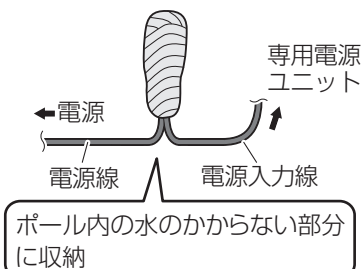
③-2 端子とシースを絶縁処理する



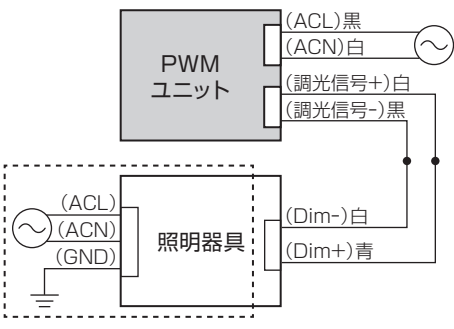
④-1 シースから絶縁処理する



④-2 ポール内に収納する



配線図 ※別売PWMユニットに接続する場合

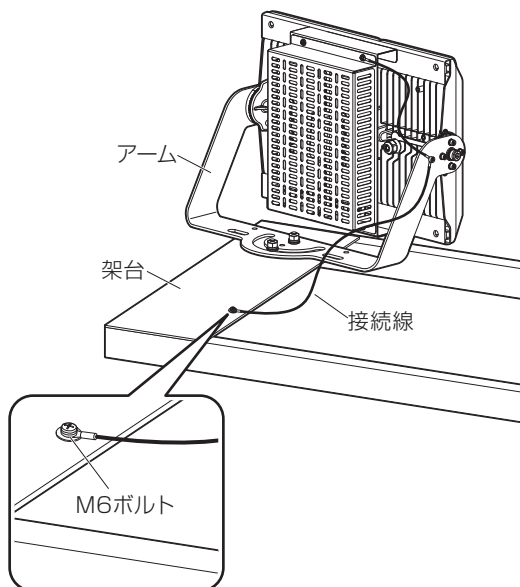


警告 ●結線後、絶縁・防水処理を確実に実行する
処理が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因になります。

●必ず専用器具で圧着する
単線とより線の直接接続(ねじり接続など)はしないでください。火災の原因になります。

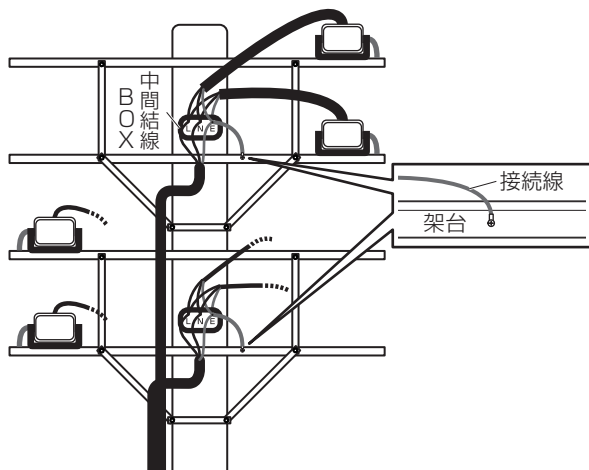
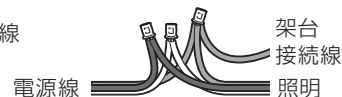
4 電柱+架台に照明を設置する場合、下記2点の工事を実施する

①照明のアームから出ている接続線を架台へ接続する。



②架台から接続線を引き出し、接地をする。

架台から出した接続線を「電源線」と「照明」の接続線へ接続してください。



PWM制御方式のみ 調光線を接続する(2本)

※調光器を接続しない場合も必ず下記の③の手順で防水・絶縁処理を行ってください。

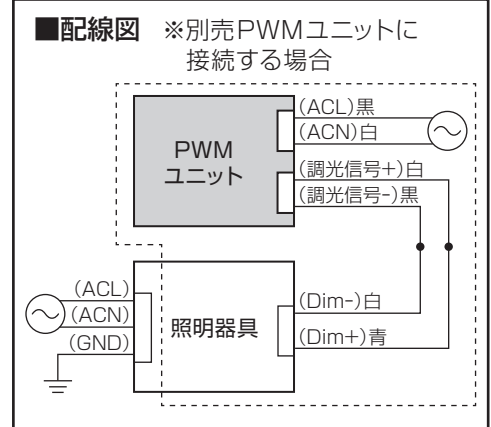
- ①電源口出線の青白線をPWMユニット(屋外用)に接続する。
※調光信号用口出線には極性があります。必ず結線図通りに接続してください。

警告 接続が不完全な場合、発熱・感電・火災の原因になります。

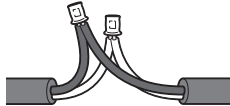
- ②各端子とシース部をケーブル絶縁被覆部から自己融着テープなどで防水処理を行う。その後、絶縁テープなどでそれぞれに絶縁処理を行う。

警告 接続部、シース部に直接水がかかると、水分が毛細管現象により器具内部に侵入するおそれがあります。

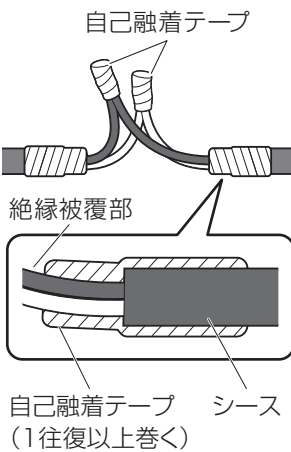
- ③各端子を絶縁した後、電源線及び電源口出線のシース(外被)の部分から絶縁処理し、ポール内に入れ防水処理を確実にを行う。



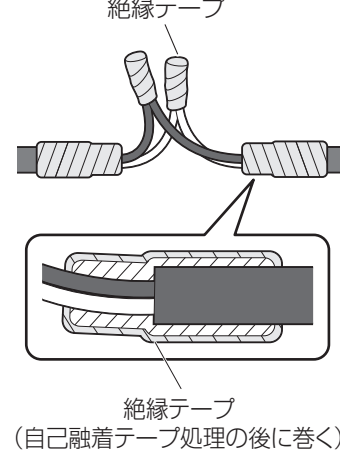
- ① 端子を圧着する



- ②-1 端子とシースを防水処理する

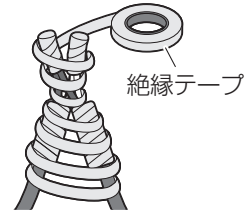


- ②-2 端子とシースを絶縁処理する

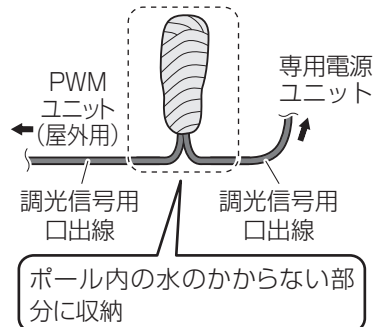


※絶縁処理には、絶縁テープなどを使用してください。

- ③-1 シースから絶縁処理する



- ③-2 ポール内に収納する



警告

●結線後、絶縁・防水処理を確実にを行う
処理が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因になります。

●必ず専用器具で圧着する
単線とより線の直接接続(ねじり接続など)はしないでください。
火災の原因になります。

施工記録表

●施工時に必ず記入し、お客様にお渡しください。

工事名		取付台数	使用電源	
工事店名		器具品番	使用電圧	
電話番号			ブレーカーNO.	
取付年月				